

佐久市都市計画マスタープラン改定計画(素案)に係る住民説明会での意見の概要とそれに対する市の考え方

開催日	会場	意見の内容(要旨)	当日の回答内容	
1	12/4	あいとぴあ臼田	人口集中地域とそれ以外の地域の差が顕著に出てきている中で、臼田地域は人口が減っていると思う。臼田地域は、ゴミの収集が他の地域と違う。ゴミの分別だけでこの地域に住みたくない人がいる。こんなゴミの収集方法でやっている臼田地域の人口は明らかに減っていくと思う。そのことについて是非検討いただきたい。	ご意見として承ります。
2	12/4	あいとぴあ臼田	合意形成の経過について、平成28年から掲載されているが、事の起こりは平成27年度に臼田区長会から、衰退傾向にある臼田地区の人口減を止めたいということで、工業団地の誘致を市に要望しているところからだと思うので、平成27年度からの経過の記載をお願いしたい。	工業団地の関係のご意見として承ります。都市計画マスタープランの改定につきましては、2箇年の事業ということで、平成28年度と平成29年度で作業を行っていることから、それ以前の内容に関する記述はありません。
3	12/4	あいとぴあ臼田	臼田地域の主要施策(カ)千曲川の護岸整備及び片貝川の河川改修とあるが、下流側の中込・野沢地域には記述がない。下流で詰まってしまうので、整備しても仕方がないとも言われている。毎年水害等で被害をこうむっているので、下流の中込・野沢にも記述をして欲しい。	こちらは、平成23年度の臼田地区の市政懇談会から、区長さん方からの要望があったとの認識で記述しております。ご意見につきましては、ごもっともだと思いますので、記述等配慮させていただきます。
4	12/4	あいとぴあ臼田	特定用途制限区域とは、具体的にはどんな制限がかかるのか教えて欲しい。	佐久臼田インターチェンジから概ね半径300mの範囲を基準とし、地形・地物や道路、水路、あるいは筆界で区域取りをしています。この線の内側に望ましくない建物を作られないようにするという事です。望ましくない建物とは、風俗関係の建物、あるいは、ホテル等です。
5	12/4	あいとぴあ臼田	臼田地域の「ウ 主要施策」、「(オ)持続可能で快適な住環境整備」に、「安全な通学路の確保と狭あい道路の解消」と、マスタープラン策定に関するアンケート調査で、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」とあるが、工業団地がインター周辺にできるとなると、工業団地に通勤する車、工業団地へ材料を運ぶ車、かなり交通量はこの限界で多くなると考えられる。 具体的に言えば、ツルヤの前から切原方面に上っていく道があるが、下越の住宅街に入る辺りから急に狭くなっており、その周辺に新小学校ができる建設される予定でもあることから、そこが通学路となると非常に危険である。 工業団地ができれば、周辺に住む人たちも増え、一層交通量が増えると思う。こうしたことから、通学路の安全確保については、教育委員会と連携を取りながらしっかりと検討して欲しい。	通学路の安全確保につきましては、臼田地域に限らず、市内全域にわたって必要なことだと思います。特に、臼田地域につきましては、工業団地の造成や新小学校の建設が並行して進められていくなかで、いただいたご意見を十分認識し、地域の皆様と進めていきたいと考えています。
6	12/6	浅科支所	生涯活躍のまち(日本版CCRC)事業の推進が、浅間・東地域と臼田地域に入っていますが、具体的なスケジュールはあるか。	「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中で、CCRCを具現化していく地区の候補として、都市型を佐久平駅周辺地区、農村型を臼田地区と分け、まず、臼田地区で取り組んでおります。実際には、元気な高齢者に移住していただき、佐久市で生活をさせていただきます。その受け皿となる、サービス付き高齢者向け住宅の場所を選定し、整備の計画を立てている段階です。 佐久平駅周辺地区に関しては、まだ具体的に動いていない状況です。
7	12/6	浅科支所	持続可能で快適な住環境整備の方針や安心・安全まちづくり方針とありますが、空き家は今後も増加すると言われていた中で、何か計画(ランドバンク事業・空き家利用計画など)はあるか。	空き家の問題につきましては、本編において、持続可能な住環境整備方針の中に位置付けをしており、具体的には85ページに、空き家対策として項目を起しております。 現在、「佐久市無居住家屋等対策計画」の策定作業中であり、大枠はできておりますので、その内容につきまして、いくつか記述をしているところです。 今後、こういった計画と整合を図りながら、対策を進めてまいりたいと考えています。

	開催日	会場	意見の内容(要旨)	当日の回答内容
8	12/6	浅科支所	「佐久市無居住家屋等対策計画」は、現在、作成中ということか。	昨年度に行いました、市内の空き家の実態調査とその所有者へのアンケート調査の結果を踏まえ、今年度中に作成し、公表をする予定です。
9	12/6	浅科支所	地域の居場所づくりのところに、プレイスメイキングとあるが、具体的にどのようなイメージか。公民館を利用するというものなのか、今までと違ったことものをつくっていくということなのか。	プレイスメイキングとは、直訳したとおり、居場所づくりということです。具体的には、公共的な施設や空き地、あるいは公園など、色々な空間を使い、居心地のいい仕組みづくりや工夫をし、市民が滞留したり、にぎわいを生み出すような取組につなげたいというものです。新たに施設をつくるというより、既存の施設や空き地を生かすようなイメージで考えております。
10	12/6	浅科支所	移住関連施策との連携による多自然居住の誘導とあるが、どういったことか。	ここでの多自然居住というのは、自然を求めての移住のニーズがあることを踏まえ、御牧原地区のような地域をイメージしています。空き家バンク等の施策とあわせながら、事業を進めてまいりたいと考えております。
11	12/9	本庁	マスタープランは長い期間に渡るものですが、要望も多々ある中で、それがマスタープランにどう反映されているのか、現計画の検証結果がどうなのか、それを踏まえて今回どのように変わったのか。	<p>現計画の検証は、計画を策定する前段階として、それぞれの施策展開の方針や具体的な主要施策の達成度につきまして、庁内照会を行い、確認している状況があります。</p> <p>現計画からの主な変更点ですが、特に違いがあり強調したい部分は、「2 佐久市の課題」、「(1)近年の佐久市の動向」にあります。1つ目として、「機能集約・ネットワーク型まちづくり」です。人口減少が、10年前と比べると進んできている中で、そのようなまちづくりが必要ではないかということで、1つポイントとしています。</p> <p>2つ目として、中部横断自動車道の延伸が進んでいるのと同時に、新たな広域交流拠点の創出ということで、佐久平駅南地区(樋橋地区)の土地利用の動きが出ていることも大きな要素の1つになります。</p> <p>3つ目として、健康長寿のまちづくりということで、この部分が今回のマスタープランにおいて、特にポイントとしている箇所、様々な形で計画に生かされています。</p> <p>なお、都市計画マスタープランは、市町村における都市計画の基本的な方針でありまして、現計画は平成20年に策定され、おおよそ10年経過しての今回の改定になります。</p> <p>都市計画マスタープランにおける目標年度は、20年後という中で、現計画を引き継いで記述しているもの、あるいは、その後の施策展開により内容を変更したもの、あるいは、新たな方針に基づいて記述を加えたもの等で構成されています。</p>
12	12/9	本庁	<p>少子化はこの計画で解決できますか。日本中の人口は減っているんで、人口の現状維持をするだけで他の市町村に勝てると思う。</p> <p>佐久市の非正規雇用について、全体の何%ぐらいいて、給料はどれくらいもらっているのか。全国平均だと、約60%が年収170万円くらいである。これでは、子どもは産めない子育てられない。</p> <p>例えば、給料を2倍にしたら年収340万円となり、消費が増え、利益が増え、経済が循環する。経済を循環するために樋橋の開発であり、そういったことを総合的に考えるのがマスタープランではないか。</p> <p>具体的に言うと、イオンの建設は必要ないと思う。統計では、人口が減り、佐久市の消費量は毎年減っている。高齢者は消費したいものがない。若者は消費するお金がない。そうすると、経済は循環しない。基本的な哲学が抜けていると思う。</p> <p>これから、土地区画整理事業があるようなので、それも含め、佐久市の人口減少をどのような形で抑えていくか、樋橋地区の使い方はこれで本当にいいのか。</p> <p>特徴を生かすとあるが、特徴とはなんですか。欠点を書いてないが欠点はなんですか。こういう欠点がありこれをクリアしないといけないということも検証していくような、研究班・研究機関というもの作ることも必要ではないかと思えます。</p>	<p>都市計画マスタープランにおきましては、具体的な記述をしているものや、方向性を示しているものなど、色々なケースに応じて記述しています。</p> <p>その中で、人口を維持するというのは大きな目標です。こちらにつきましては、「第二次佐久市総合計画」の中でも、目指すべき主な柱になっており、総合計画の都市計画分野を主として担うのが、都市計画マスタープランという関係になります。</p> <p>人口減少に対する認識は、佐久市においても当然ありまして、各分野でその対策を講じているところでございます。例えば、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」におきましては、人口増加のための施策の1つとして、第3子の保育料を無料とするなど、都市計画マスタープランには記述のないものですが、そういった施策も実施しております。</p> <p>佐久平駅南地区(樋橋地区)の関係ですが、こちらにつきましては、市内の他の地区の購買を集中させようという意図ではなく、もう少し広い範囲から集客し市へ呼び込むことを前提として、佐久平駅南(樋橋)土地区画整理事業を推進するものです。</p> <p>佐久市にも欠点がありますが、今、市で考えているのは、市のいいところ、例えば、高速交通網に恵まれていること、東京から近いということ、自然が近いということ、こういった強みを生かしていくことに力を入れています。</p> <p>その中で、今回の都市計画マスタープランについては、都市づくりの面から特徴を生かしたまちづくりを推進することにより、住む人、移住する人を増やすことで人口を維持したり、できるだけ人口を増やしたいと考えているところです。</p>

	開催日	会場	意見の内容(要旨)	当日の回答内容
13	12/9	本庁	外から人を呼ぶことは、どこの市町村でも言っているが、そうではなく地産地消。佐久市で子どもを産み、佐久市で就職する。そうすれば、人口は減らない。他の市町村も同じことを考えている。	全て市外から移住してきた人で人口を増やそうという考えではありません。市内に就職先があれば、若者も東京に出て行くことは少なくなり、その分、佐久市にとどまってもらえると思います。そういった施策も進める中で、あわせて、移住者にも来ていただきたいと考えています。
14	12/9	本庁	都市計画マスタープランの中に、佐久平以外の地域の都市部(例えば、浅科地域、望月地域)をどうしていくかという記述は入っているのか。例えば、庁舎を中心にどういった施策をやっていくのかということを知りたい。	地域ごとに具体的な施策については、「第4章 地域別構想」において、記述してあります。 浅科地域、望月地域につきましては、昨年度策定した「佐久市立地適正化計画」によりそれぞれ地域拠点と位置付けており、都市機能を維持していきたいと考えております。 拠点が維持されることにより、人が集まり、結果的に地域が活性化するというように、中心市街地のみではなく、それぞれの拠点を維持していくことが、佐久市の人口減少抑制のために必要なことではないかと考えています。
15	12/9	本庁	山林利用の計画として、最初に境界を明確にしないといけないと思うが、その方向性等は整理していくのか。また、期間はどれくらいかかと予定しているか。 やるかもしれないという記述がやりますとなった時ほどの計画に記述されるのか。 都市計画というのは佐久市の全体の計画の中にあり、土地利用や道路等地面に関係することだと認識しているが、都市化をするための計画なのか。浅科地域、望月地域を都市化しようとするとは記述がないが、都市化するつもりはないということか。 都市計画マスタープランは、国土利用計画と並列なのか、下位計画なのか、総合計画等の他計画との位置付けがわからない。	都市計画マスタープランに、山林の境界に関する記述はありません。具体的な内容につきましては、耕地林務課国土調査係で進めています。また、山林の活用をするかどうかということは、この計画では扱いません。 実際に事業としてやっていく計画というのは、佐久市の実施計画になりまして、記述されたところから実施されます。 例えば、森林において都市的な土地利用がしたいということになれば、都市計画マスタープランへ記述することとなります。一方、森林に特化した計画は、森林の保全や有効活用がメインの計画になってきます。森林としての土地利用と都市的土地利用は別であり、土地利用の形態を変えようとする時には、計画を変更するために手続きが必要になります。 浅科地域、望月地域についても、新たな都市化のための施策はなく、前段の回答にありますとおり、今あるものを維持していきたいという考えでございます。 市全体の土地利用の最上位計画につきましては、「第二次佐久市国土利用計画(佐久市計画)」になります。これの下位計画として、都市計画マスタープランがあり、同列の計画として、農業分野や山林分野の計画がそれぞれあります。なお、「第二次佐久市総合計画」から土地利用だけ切り出したものが、国土利用計画となりますので、総合計画と国土利用計画はともに、都市計画マスタープランの上位計画となります。
16	12/9	本庁	武道館のところの道路は、入口なのか出口なのか分からない。佐久平交流センターは、駐車場がいつも満車で停められず、出ようとすると入ってくる車で出られないこともある。 軽井沢に買い物に来たお客さんは、ネットで調べ佐久に食事や買い物に来るが、道路がこんな状態で駐車場がない。人が集まるような場所では、道路を2倍に増やさないと間に合わないのではないかと。	「創錬の森」の武道館周辺の道路の件ですが、「創錬の森」の整備にあたり、それに関する道路は、既に整備させていただいております。 今回、県から武道館の概要が発表され、複合的な利用も可能になり、3千人くらい収容できる催し物が開催できるということが明らかにされています。これに対応できるかどうか検討をするということで進めていますが、具体的なことまでは決まっていません。 軽井沢から佐久市へという話ですが、佐久市内の幹線道路につきましては、計画に沿った整備がされています。ほぼ今の状況で、お客様が増加しても、特に、地域の生活に影響は生じないものと考えています。 それぞれの生活道路につきましては、一度に整備はできませんので、必要な所から状況に応じて対応していくこととしています。

	開催日	会場	意見の内容(要旨)	当日の回答内容
17	12/12	野沢会館	「2 将来都市構造」の軸の考え方について、南北の佐久都市連携軸は小海線や国道もあり、軸としてイメージができるのだが、東西の中山道交流軸は、軸というイメージがないが、軸として位置付けていいものなのか。	中山道交流軸の考え方につきましては、市内を東西に縦貫する軸としての位置付けをしています。また、市の地域拠点との位置付けのある、浅科、望月地域と佐久平駅周辺や佐久市の中心部をつなぐ軸でもあります。確かに、幹線としての位置付けは弱くなっていますが、公共交通(バス)の自主運行路線も入っておりますし、必要な軸と考えています。 また、中山道がイメージの基になっており、東の方は、御代田、軽井沢、更には首都圏方面へつながり、西の方は、松本、諏訪、更には京都に至る路線でもありますので、外に向かって発信していくような軸と位置付けてまいりたいと考えています。
18	12/12	野沢会館	各地域の将来像のところで、中込・野沢地域は、「千曲川の清流に培われた歴史・文化」、浅科地域は、「優れた歴史・文化」、望月地域は、「豊かな自然と歴史・文化」ということで、「歴史・文化」という言葉に対して形容詞で表現されているが、臼田地域のみ、その表現がない。その違いと意図を知りたい。	「歴史・文化」がそれぞれの将来像に取り入れられていることにつきましては、ワークショップやタウンミーティングを重ねる中で、それぞれの地域にお住まいの方の思いが強い部分を反映させてあり、「歴史・文化」は要素として欠かせないものだと考えています。形容詞がついていないという書き方については、それにより他の地域と特に差をつけたわけではありません。地元の方々の思いを生かしながら、描かれた将来像であることをご理解ください。
19	12/12	野沢会館	「第3章 全体構想」の「3 緑と環境の方針」の基本的な考え方で、「佐久市の緑の基本計画」に基づくとありますが、「緑の基本計画」とセットで動くということで理解してよろしいか。	「佐久市緑の基本計画」につきましては、今年度と来年度の2ヶ年で計画の策定を行っています。セットで動くということではありませんが、「緑の基本計画」は、現在、大枠部分の策定作業が進んでいるところです。このため、そちらの必要な要素のすりあわせをし、間に合う範囲で都市計画マスタープランにも生かしたいと考えています。いずれにしてもセットで動くべきものだと考えていますので、極力齟齬が生じないように努めてまいりたいと思っています。
20	12/12	野沢会館	1ページの市民意向を把握するためのアンケート調査ですが、歩行者に対する安全性・歩きやすさや、公共交通機関(鉄道・バス)の利用のしやすさが、満足度が低かったわけですが、いずれ反映されるのか。	例えば、歩行者に対する安全性・歩きやすさにつきましては、「第3章 全体構想」の「2 都市交通方針」の2点目に基本的な考え方として、「自動車・歩行者・自転車がそれぞれ快適かつ安全に通行できる道路環境の創出」と記述してあります。改定前の計画と比べますと、アンケートの結果を踏まえ、新たに方針として見出しを起し本文に記述を加えております。 さらに、具体的な施策では、概要資料5ページの臼田地域「(オ)持続可能で快適な住環境整備」において、「安全な通学路の確保と狭い道の解消」というような表現で整理しています。こちらの表現につきましては、概要版では臼田地域のみ記述をしてありますが、本文では全ての地域に記述をしてあります。 公共交通につきましても、「第3章 全体構想」の「2 都市交通方針」の3点目に「公共交通網の整備により、市内の拠点、市街地、集落、その他地域を効果的につなぐ地域間ネットワークの構築」と表現があります。こちらは他部局の施策になりますが、「佐久市地域公共交通網形成計画」というものが策定されておりますので、そちらと整合を図りながら、施策につなげていきたいと考えています。